

平成25年12月7日(土)、8日(日)に山口大学医学部附属病院主催緩和ケア研修会がANAクラウンプラザホテル宇部で開催されました。「がん対策基本法」に基づく「がん対策推進基本計画」において、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについて基本的な知識を習得する」ことが目標と掲げられています。この目標達成のため、国が定めた「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づき、統一的なプログラムによる研修会を実施しています。

当院の吉野茂文副腫瘍センター長の開会の挨拶に始まり、2日間で12時間以上の講義、グループ演習、ロールプレイ形式で行われました。研修内容は、がん性疼痛治療法、身体症状に関する緩和ケア、精神症状に関する緩和ケア、コミュニケーション技術等を含む内容でした。当院から、精神科神経科の松原先生、麻酔科蘇生科の松元先生・原田先生、看護部の宮内看護師、また、ペインクリニック山本院の山本院長、佐藤クリニックペインクリニック内科の平賀先生をファシリテーターとして迎え、当院及び近隣の病院の先生方をはじめ様々な診療科から、21名の参加がありました。

講義、グループワーク、ロールプレイ、どの形式においても様々な意見や質問が活発に出され、参加者の真剣さや意欲の高さを感じることができました。

参加者の先生方からは「実際にオピオイドの使用法や抗不安薬の使用法を学ぶことができてとても良かった」「痛みやせん妄など、普段よく出会うことに対する具体的な対応や、またその先の方法を学べて非常に良かった」など多くの意見が寄せられ、有意義な研修会となり無事終了することが出来ました。

《研修会風景》

受講風景



グループワーク風景



ロールプレイ風景



修了証書授与

